

フランクリン・テンプレトン・アメリカ高配当株ファンド (毎月分配型) / (3ヵ月決算型) / (年2回決算型)

旧名称：LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） / （3ヵ月決算型） / （年2回決算型）

追加型投信 / 海外 / 資産複合

交付運用報告書

(毎月分配型)

第115期(決算日2022年9月20日) 第116期(決算日2022年10月20日) 第117期(決算日2022年11月21日)

第118期(決算日2022年12月20日) 第119期(決算日2023年1月20日) 第120期(決算日2023年2月20日)

(3ヵ月決算型)

(年2回決算型)

第38期(決算日2022年11月21日) 第39期(決算日2023年2月20日) 第20期(決算日2023年2月20日)

作成対象期間(2022年8月23日～2023年2月20日)

(毎月分配型)

(3ヵ月決算型)

第120期末(2023年2月20日)	
基準価額	11,353円
純資産総額	20,671百万円
第115期～第120期	
騰落率	△3.2%
分配金(税込み)合計	240円

第39期末(2023年2月20日)	
基準価額	9,807円
純資産総額	4,131百万円
第38期～第39期	
騰落率	△3.2%
分配金(税込み)合計	0円

(年2回決算型)

第20期末(2023年2月20日)	
基準価額	23,994円
純資産総額	12,084百万円
第20期	
騰落率	△3.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「フランクリン・テンプレトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） / （3ヵ月決算型） / （年2回決算型）」は、2023年2月20日に決算を行いました。

当ファンドは、配当収入の確保と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

(営業日の9:00～17:00)

<https://www.franklintempleton.co.jp>

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

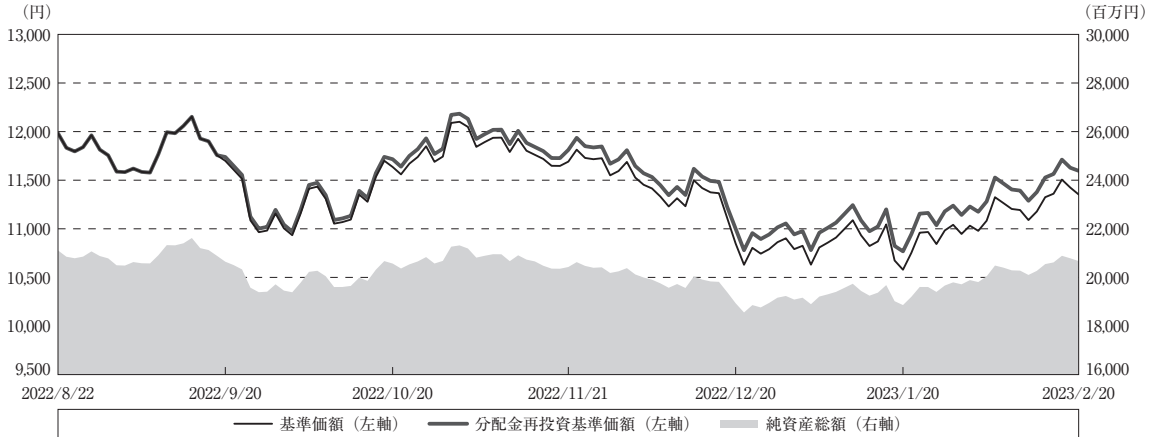
<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。

運用経過

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

作成期間中の基準価額等の推移

（2022年8月23日～2023年2月20日）



第115期首：11,983円

第120期末：11,353円（既払分配金（税込み）：240円）

騰落率：△ 3.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2022年8月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

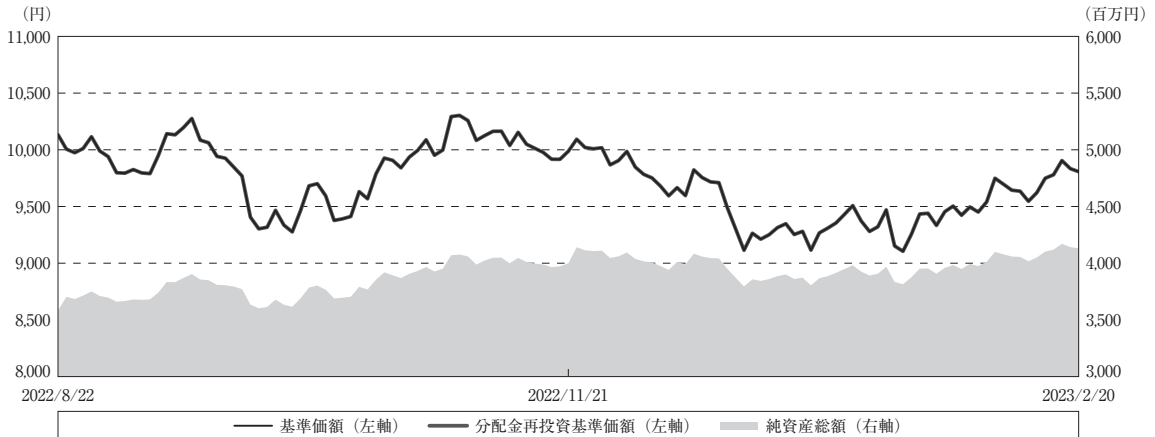
当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス（分配金再投資ベース）となりました。米ドル・円相場が米ドル安・円高となったことから、為替要因がマイナスとなりました。一方、株式要因による基準価額への影響は、限定的となりました。

運用経過

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

作成期間中の基準価額等の推移

（2022年8月23日～2023年2月20日）



第38期首：10,133円

第39期末：9,807円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率：△ 3.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2022年8月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

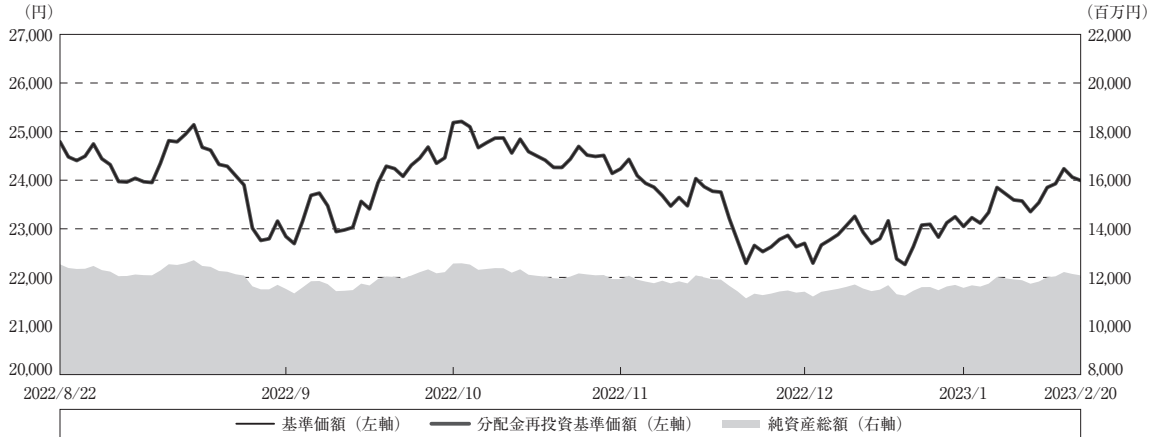
当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス（分配金再投資ベース）となりました。米ドル・円相場が米ドル安・円高となったことから、為替要因がマイナスとなりました。一方、株式要因による基準価額への影響は、限定的となりました。

運用経過

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

期中の基準価額等の推移

（2022年8月23日～2023年2月20日）



期 首：24,791円

期 末：23,994円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率：△ 3.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2022年8月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。

米ドル・円相場が米ドル安・円高となったことから、為替要因がマイナスとなりました。一方、株式要因による基準価額への影響は、限定的となりました。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

1万口当たりの費用明細

（2022年8月23日～2023年2月20日）

項 目	第115期～第120期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	108 (53) (53) (2)	0.954 (0.466) (0.466) (0.022)	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投資証券) (M L P)	1 (1) (0) (0)	0.008 (0.007) (0.001) (0.001)	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の 平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式) (投資証券) (M L P)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(c) 有価証券取引税 = 作成期間の有価証券取引税 ÷ 作成期間の 平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する 税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用) (その他1) (その他2) (その他3)	10 (0) (0) (1) (5) (4) (0)	0.086 (0.004) (0.003) (0.005) (0.042) (0.032) (0.000)	(d) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益 権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保 管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出に係る費用 M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払 費用等(△の場合は、未払費用の組戻し) 権利処理に伴う費用(外国税額分も含む) 金銭信託預入に係る手数料等
合 計	119	1.048	
作成期間の平均基準価額は、11,341円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

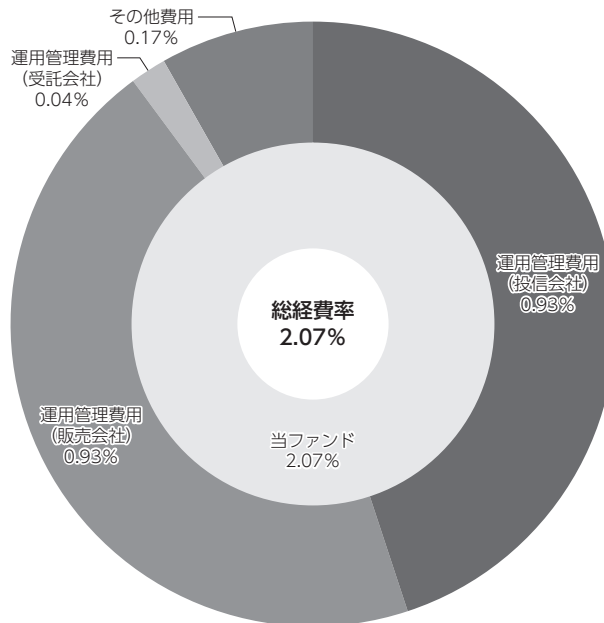
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.07%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

1万口当たりの費用明細

(2022年8月23日～2023年2月20日)

項 目	第38期～第39期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	92 (45) (45) (2)	0.954 (0.466) (0.466) (0.022)	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投資証券) (M L P)	1 (1) (0) (0)	0.008 (0.007) (0.001) (0.001)	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の 平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式) (投資証券) (M L P)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(c) 有価証券取引税 = 作成期間の有価証券取引税 ÷ 作成期間の 平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する 税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用) (その他1) (その他2) (その他3)	9 (0) (0) (1) (4) (3) (0)	0.091 (0.004) (0.004) (0.008) (0.043) (0.033) (0.000)	(d) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益 権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保 管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出に係る費用 M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払 費用等(△の場合は、未払費用の組戻し) 権利処理に伴う費用(外国税額分も含む) 金銭信託預入に係る手数料等
合 計	102	1.053	
作成期間の平均基準価額は、9,672円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

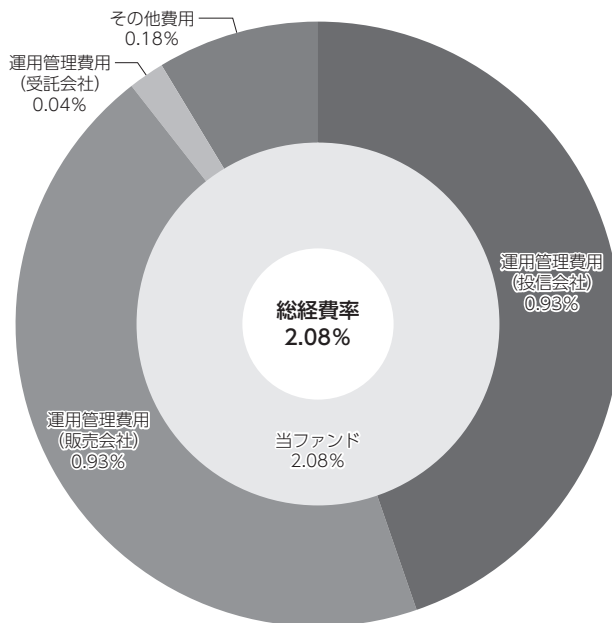
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

1万口当たりの費用明細

(2022年8月23日～2023年2月20日)

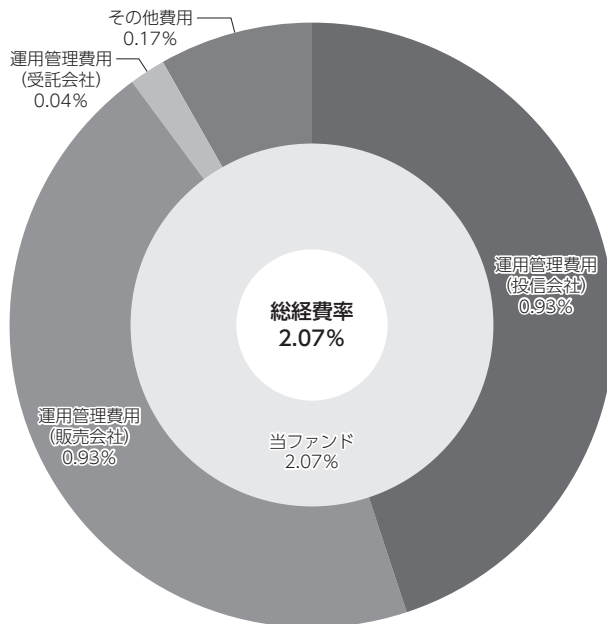
項 目	当 期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	226 (110) (110) (5)	0.954 (0.466) (0.466) (0.022)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投資証券) (M L P)	2 (2) (0) (0)	0.008 (0.007) (0.001) (0.001)	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式) (投資証券) (M L P)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用) (その他1) (その他2) (その他3)	20 (1) (1) (1) (9) (8) (0)	0.084 (0.004) (0.003) (0.005) (0.040) (0.032) (0.000)	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用 M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用等(△の場合は、未払費用の組戻し) 権利処理に伴う費用(外国税額分も含む) 金銭信託預入に係る手数料等
合 計	248	1.046	
期中の平均基準価額は、23,663円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○**総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.07%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

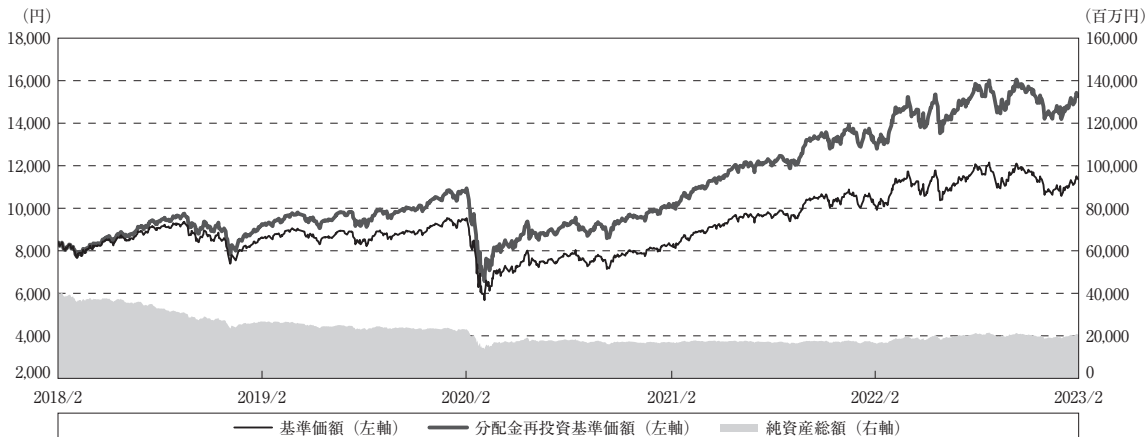
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

最近5年間の基準価額等の推移

（2018年2月20日～2023年2月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年2月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

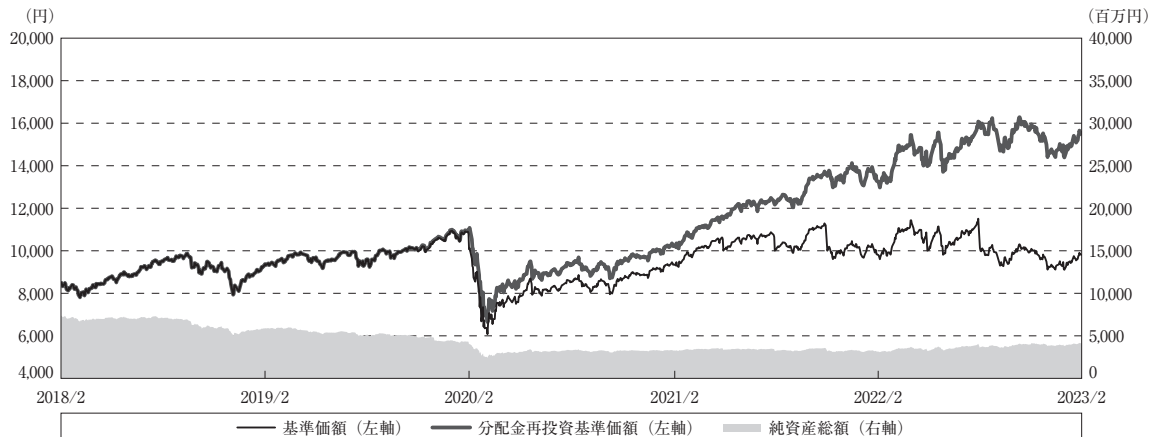
	2018年2月20日 決算日	2019年2月20日 決算日	2020年2月20日 決算日	2021年2月22日 決算日	2022年2月21日 決算日	2023年2月20日 決算日
基準価額 (円)	8,376	8,634	9,481	8,225	10,129	11,353
期間分配金合計(税込み) (円)	-	600	600	500	480	480
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	10.6	17.4	△ 7.2	29.5	17.0
純資産総額 (百万円)	40,373	26,797	23,004	16,879	16,632	20,671

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

最近5年間の基準価額等の推移

（2018年2月20日～2023年2月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年2月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年2月20日 決算日	2019年2月20日 決算日	2020年2月20日 決算日	2021年2月22日 決算日	2022年2月21日 決算日	2023年2月20日 決算日
基準価額 (円)	8,479	9,378	10,071	9,352	9,803	9,807
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	940	0	2,200	1,670
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	10.6	17.5	△ 7.1	29.5	17.0
純資産総額 (百万円)	7,345	5,908	3,986	3,271	3,146	4,131

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

最近5年間の基準価額等の推移

（2018年2月20日～2023年2月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年2月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年2月20日 決算日	2019年2月20日 決算日	2020年2月20日 決算日	2021年2月22日 決算日	2022年2月21日 決算日	2023年2月20日 決算日
基準価額 (円)	13,088	14,485	17,022	15,821	20,491	23,994
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	10.7	17.5	△ 7.1	29.5	17.1
純資産総額 (百万円)	12,755	9,851	8,171	6,569	7,883	12,084

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

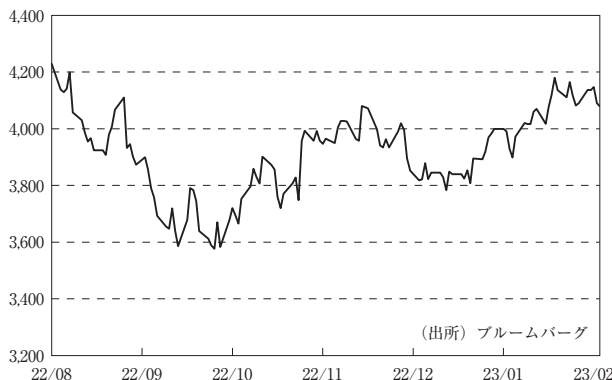
<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>

投資環境

（2022年8月23日～2023年2月20日）

米国S&P 500指数の推移

当作成期の米国株式相場は、下落しました。期の前半は、米連邦準備制度理事会（FRB）議長が利上げを継続する姿勢を示したことなどを受け、株価は軟調となりました。さらに、FRBが積極的な利上げを続けるとの見方から一段の金融引き締めが米国景気の悪化を招くとの懸念が広がり、株価は下落しました。



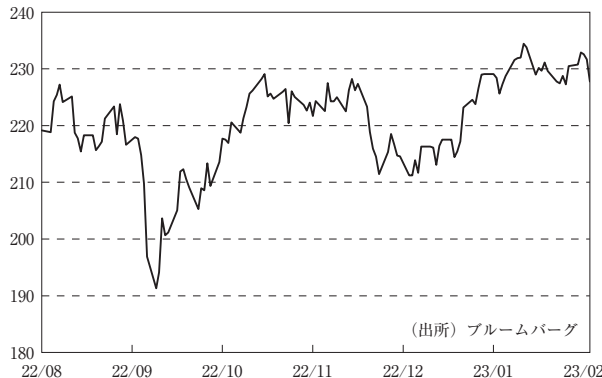
期の半ばは、FRBが利上げペースを緩めるとの観測が浮上したことから、株価は上昇に転じました。さらに、インフレ・ピークアウトの観測から積極的な金融引き締めの長期化に対する警戒感が和らいだことから、株価は上昇しました。その後は、FRBが利上げ幅の縮小を決定したものの、利上げを継続する姿勢を示したことから、景気悪化の懸念が改めて広がり、株価は下落しました。

期の後半は、インフレ上昇率が鈍化し、FRBが利上げ幅を縮小するとの見方が広がったことなどから、株価は上昇しました。

アリアンMLP指数の推移

当作成期のMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場は、上昇しました。

期の前半は、世界の主要中央銀行による大幅利上げが景気を冷やし、エネルギー需要が伸び悩むとの見方などを背景に、MLP市場は下落しました。その後は、FRBが利上げ幅を縮小するとの観測が浮上し、大幅な利上げの継続に対する過度の警戒感が後退したことなどから、MLP市場は上昇に転じました。



期の半ばは、中国でのゼロコロナ政策によりエネルギー需要の伸び悩みが懸念されたことなどから、原油価格が軟調となる中、MLP市場は上値の重い展開となりました。さらに、FRBの利上げ継続で米国景気が悪化すると懸念が改めて広がったことなどから、MLP市場は軟調となりました。

期の後半は、FRBによる金融引き締めの長期化に対する懸念が和らいだことや、中国の経済活動の正常化で原油需要が回復すると見方が広がったことなどから、MLP市場は上昇しました。

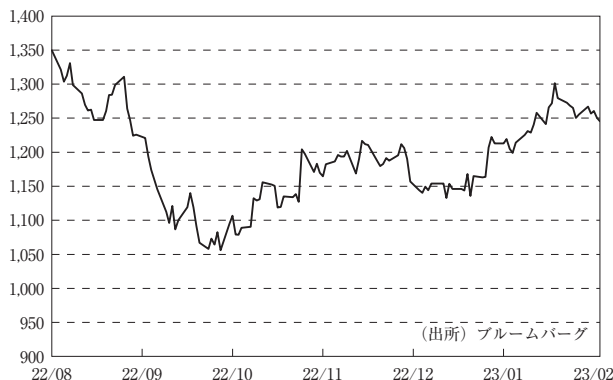
当作成期のリート市場は、下落しました。

期の前半は、世界的なインフレ圧力の根強さが意識されたことや、FRBによる利上げ継続の見方が強まり、米国国債利回りが上昇したことなどから、リート市場は下落しました。

期の半ばは、FRBが利上げペースを緩めるとの期待から米国国債利回りが低下する中、リート市場は上昇しました。その後は、FRBが利上げ幅の縮小を決定したものの、利上げを継続する姿勢を示したことから、リート市場は軟調となりました。

期の後半は、FRBによる利上げペースが鈍化するとの観測が広がり、米国国債利回りが低下したことなどから、リート市場は上昇しました。

MSCI US REIT指数の推移



当作成期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。

期の前半は、FRBが積極的な金融引き締め姿勢を見せる一方で、日銀が大規模な金融緩和策を維持したことから、日米の金融政策の方向性の違いが意識される中、米ドル買い・円売りが優勢となりました。その後も、FRBが積極的な利上げを続けるとの見方が根強い中、米ドル買い・円売りが進みました。

期の半ばは、日本政府・日銀による米ドル売り・円買いの為替介入が見られたことや、FRBが利上げペースを緩めるとの観測が浮上したことなどから、米ドル売り・円買いが優勢となりました。日銀が長短金利操作（イールドカーブ・コントロール=YCC）で長期金利の上限引き上げを決定したことを受けて、日銀の大規模な金融緩和策が修正され、日米金利差が縮小するとの思惑が浮上したことから、米ドル売り・円買いが強まりました。

期の後半は、FRBによる利上げペースが一段と鈍化するとの見方が強まったことから、米ドル売り・円買いが優勢となりました。その後は、堅調な米国雇用情勢などを背景に、米ドル買い・円売りが優勢となりました。

米ドル／円レートの推移



<フランクリン・テンプレトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>

当ファンドのポートフォリオ

（2022年8月23日～2023年2月20日）

当ファンドは、主に「フランクリン・テンプレトン・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLPおよび不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期の運用においては、高水準の配当利回りが期待できる銘柄への投資を行いました。また、投資にあたっては、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着目してポートフォリオの構築を行いました。

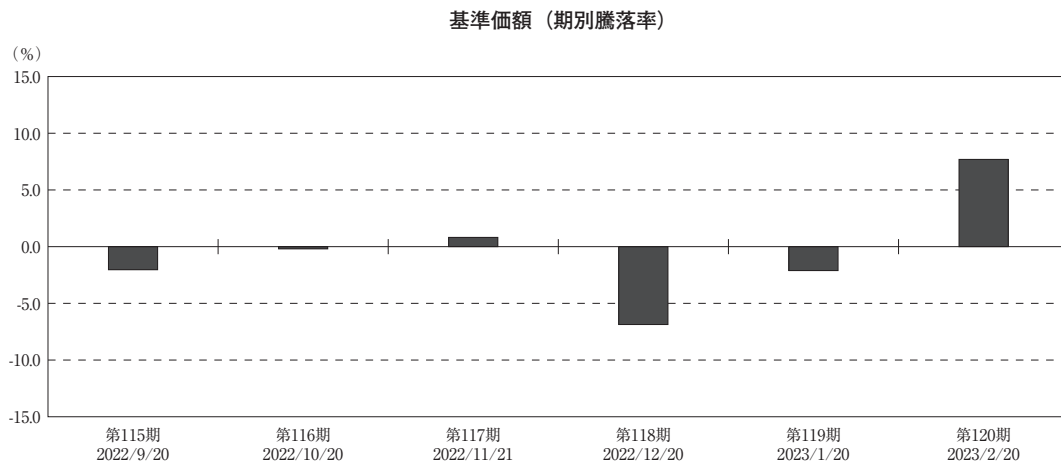
<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年8月23日～2023年2月20日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

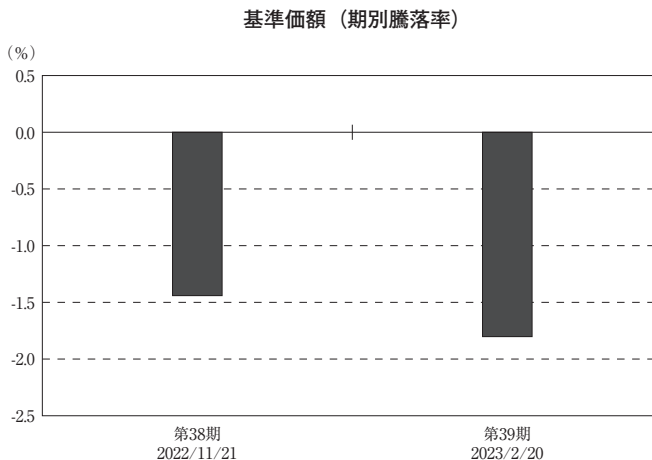
<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年8月23日～2023年2月20日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

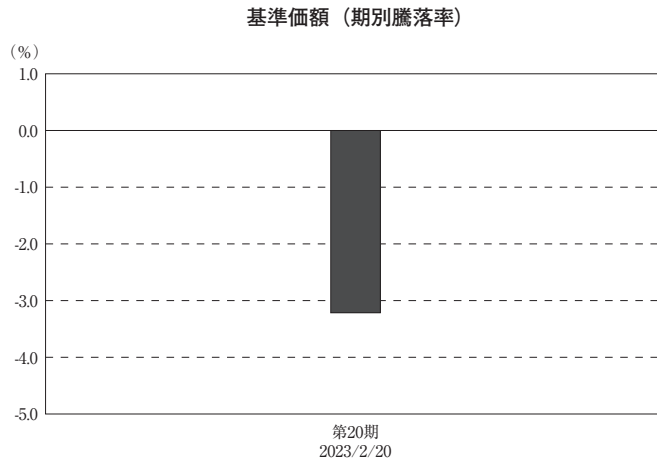
<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年8月23日～2023年2月20日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>

分配金

（2022年8月23日～2023年2月20日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
	2022年8月23日～ 2022年9月20日	2022年9月21日～ 2022年10月20日	2022年10月21日～ 2022年11月21日	2022年11月22日～ 2022年12月20日	2022年12月21日～ 2023年1月20日	2023年1月21日～ 2023年2月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	40 0.341%	40 0.343%	40 0.341%	40 0.367%	40 0.377%	40 0.351%
当期の収益	10	-	40	12	-	40
当期の収益以外	29	40	-	27	40	-
翌期繰越分配対象額	3,845	3,806	3,809	3,782	3,743	3,751

フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第38期	第39期
	2022年8月23日～ 2022年11月21日	2022年11月22日～ 2023年2月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	- -%	- -%
当期の収益	-	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	367	403

フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第20期
	2022年8月23日～ 2023年2月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	- -%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	13,994

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>

今後の運用方針

当ファンドは米国の株式、MLP、リートへの投資を目的としたファンドです。ポートフォリオにおいては、配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着目してポートフォリオの構築を行う方針です。

お知らせ

＜主な約款変更に関するお知らせ＞

当ファンドならびにマザーファンドのファンド名称変更に伴う所要の約款変更を行いました。

（変更日：2022年11月22日）

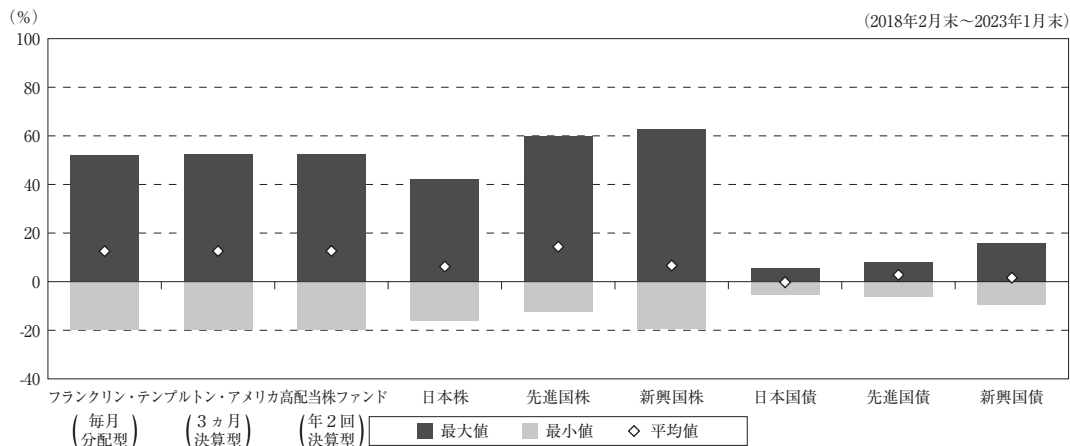
当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／資産複合	
信 託 期 間	当 フ ァ ン ド （ 毎 月 分 配 型 ） （ 年 2 回 決 算 型 ）	2013年3月8日～2033年2月18日まで
	当 フ ァ ン ド （ 3 ヲ 月 決 算 型 ）	2013年7月19日～2033年2月18日まで
運 用 方 針	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指します。	
主 要 投 資 対 象	当 フ ァ ン ド	「フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	当 フ ァ ン ド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	（ 毎 月 分 配 型 ）	原則として毎月20日。
	（ 3 ヲ 月 決 算 型 ）	原則として毎年2月、5月、8月および11月の各20日。
	（ 年 2 回 決 算 型 ）	原則として毎年2月20日および8月20日。
上記各ファンドの決算日（休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。		

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

<フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>



(単位: %)

	フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）	フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）	フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	52.2	52.4	52.5	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 19.9	△ 19.9	△ 19.8	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	12.6	12.6	12.6	6.2	14.4	6.6	△ 0.2	2.8	1.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年2月から2023年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

組入資産の内容

（2023年2月20日現在）

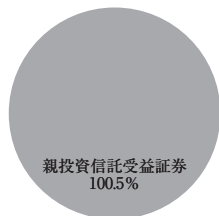
○組入上位ファンド

銘柄名	第120期末
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	100.5%
組入銘柄数	1銘柄

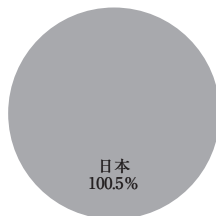
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

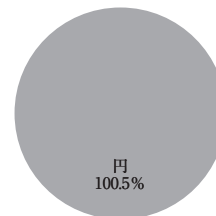
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末	第119期末	第120期末
	2022年9月20日	2022年10月20日	2022年11月21日	2022年12月20日	2023年1月20日	2023年2月20日
純資産総額	20,645,681,851円	20,570,051,895円	20,427,508,210円	18,936,728,404円	18,861,340,451円	20,671,327,864円
受益権総口数	17,647,206,458口	17,677,479,954口	17,473,549,224口	17,456,288,032口	17,829,444,828口	18,208,543,145口
1万口当たり基準価額	11,699円	11,636円	11,691円	10,848円	10,579円	11,353円

* 当作成期間（第115期～第120期）中における追加設定元本額は2,189,509,337円、同解約元本額は1,597,973,737円です。

当ファンドのデータ

＜フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）＞

組入資産の内容

（2023年2月20日現在）

○組入上位ファンド

銘柄名	第39期末
フランクリン・templton・アメリカ高配当株マザーファンド	100.5%
組入銘柄数	1銘柄

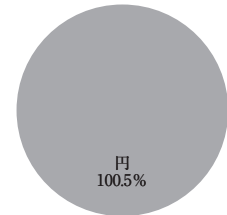
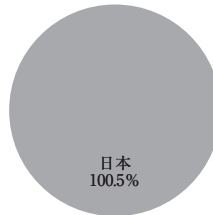
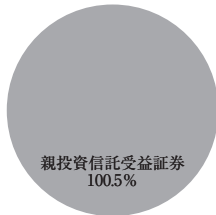
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第38期末	第39期末
	2022年11月21日	2023年2月20日
純資産総額	3,998,605,674円	4,131,063,193円
受益権総口数	4,003,721,020口	4,212,242,682口
1万口当たり基準価額	9,987円	9,807円

* 当作成期間（第38期～第39期）中における追加設定元本額は812,354,935円、同解約元本額は135,362,822円です。

当ファンドのデータ

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

組入資産の内容

（2023年2月20日現在）

○組入上位ファンド

銘柄名	第20期末
フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	101.0%
組入銘柄数	1銘柄

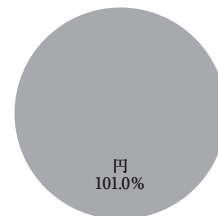
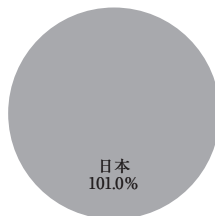
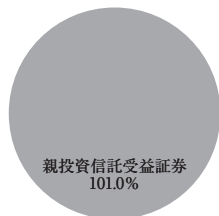
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第20期末
	2023年2月20日
純資産総額	12,084,015,369円
受益権総口数	5,036,226,378口
1万口当たり基準価額	23,994円

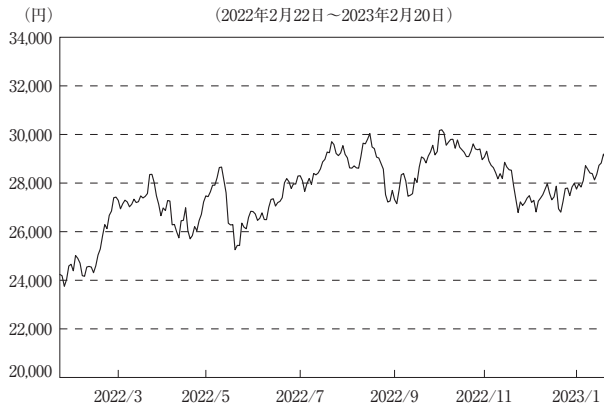
*期中における追加設定元本額は670,463,434円、同解約元本額は692,124,523円です。

組入上位ファンドの概要

フランクリン・テンプレトン・アメリカ高配当株マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年2月22日～2023年2月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年2月22日～2023年2月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株資証券) (MLP)	3 (3) (0)	0.012 (0.010) (0.001)
(b) 有価証券取引税 (株資証券) (MLP)	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)
(c) その他費用 (保管の費用) (その他の)	8 (3) (△5)	0.030 (0.010) (△0.019)
(その他) (その他) (その他)	2 (11) (0)	(0.038) (0.000)
合計	11	0.042

期中の平均基準価額は、27,632円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2023年2月20日現在)

銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1 ENERGY TRANSFER LP	MLP	米ドル	アメリカ	4.5%
2 MICROSOFT CORP	情報技術	米ドル	アメリカ	4.1%
3 ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS	MLP	米ドル	アメリカ	3.9%
4 APPLE INC	情報技術	米ドル	アメリカ	3.8%
5 BLACKSTONE INC	金融	米ドル	アメリカ	3.5%
6 MAGELLAN MIDSTREAM PARTNERS	MLP	米ドル	アメリカ	3.4%
7 BROADCOM INC	情報技術	米ドル	アメリカ	2.8%
8 WILLIAMS COS INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	2.7%
9 KKR & CO INC	金融	米ドル	アメリカ	2.4%
10 JPMORGAN CHASE & CO	金融	米ドル	アメリカ	2.2%

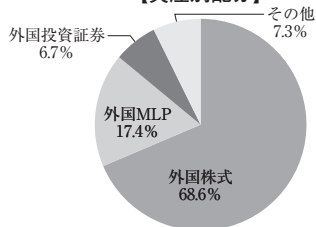
組入銘柄数 68銘柄

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

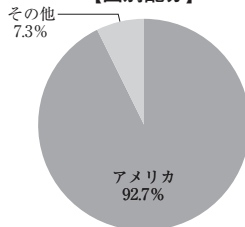
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

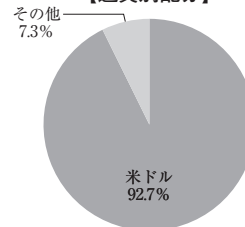
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。